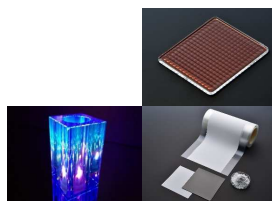


中期経営計画 (2023年～2025年)

岡本硝子株式会社
【東証スタンダード 7746】

2022年12月1日



前中期経営計画 (2019年～2021年) レビュー



■前中期経営計画レビュー (2019年～2021年)



前中計方針 (2019年～2021年)

【売上構造転換の加速】

- 次世代自動車商品群
- 固体光源商品群
- 5G通信向け商品群
- 「江戸っ子1号」及びガラス球商品群さらに、Withコロナ、Afterコロナに対応する商品群

- ・コロナ影響継続
- ・世界情勢/経済の不安定化

今回中計 (2023年～2025年)

【前中計方針を継続推進】

- ✓ 但し、事業ポートフォリオの革新が喫緊の課題
- ✓ その為に、狙いを絞り込み成長を集中
- ✓ また、環境変化に機敏に対応

- ✓ 15年度より右肩上がりに成長し、18年度には営業利益率5%以上達成。
- ✓ 19年度は米中貿易摩擦等もありプロセクター市場が減少し下振れ。20年度はコロナ影響による市場激減により大幅マイナスとなった。21年度は人員対策等による合理化施策により浮上。
- ✓ この間、技術開発含む成長投資が充分出来ず、立ち遅れ。

中期経営計画 (2023年～2025年) 【GROWTH 25】

※GROWTH : Glass Re-evolution by Okamoto
Workmanship & Technology for Hopeful future



1. 中期経営計画方針

2. 事業ポートフォリオの革新

3. 主なセグメント別取り組み

4. 業績数値見通し及び目標

1. 中期経営計画方針【GROWTH 25】（2023年～2025年）

■課題

- ☑ 19年～21年業績状況により、不十分な投資
- ☑ コロナ禍で顕在化した弱点の克服が喫緊の課題

■方針

- ・前中期経営計画方針を継続推進
- ・但し、事業ポートフォリオの革新を断行し、本中期経営計画期間に岡本硝子DNAである、機動力/技術力/コスト競争力を再進化させ、次期中期経営計画期間に営業利益率10%超を実現のための成長の種を蒔く
- ・このため、成長投資を実施して種を蒔く「再進化フェーズ」と、それを刈り取る「成長フェーズ」とに明確に分け実行
 - 中期経営計画（23年～25年）【GROWTH 25】：再進化フェーズ
 - 中期経営計画（26年～28年）【GROWTH 28】：再成長フェーズ

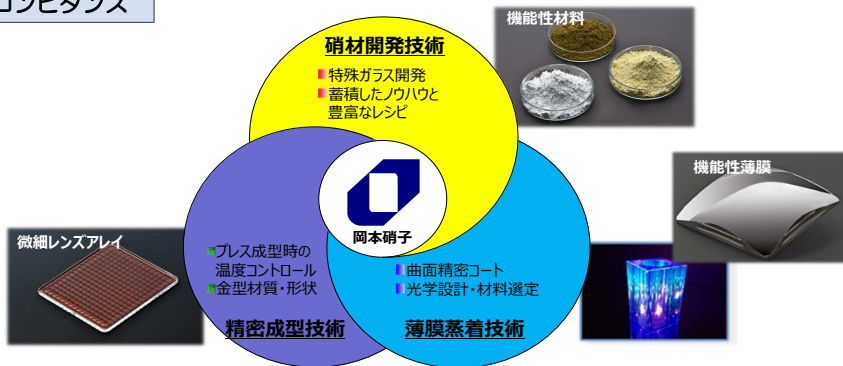
★狙い：

将来に渡り拡大が見込める成長分野並びに事業に成長投資を集中し、当社の成長並びにレジリエンス強化を実現

2. 【GROWTH 25】事業ポートフォリオの革新

コアコンピタンスの3技術を再進化させ、成長ターゲット分野に事業拡大

★コアコンピタンス

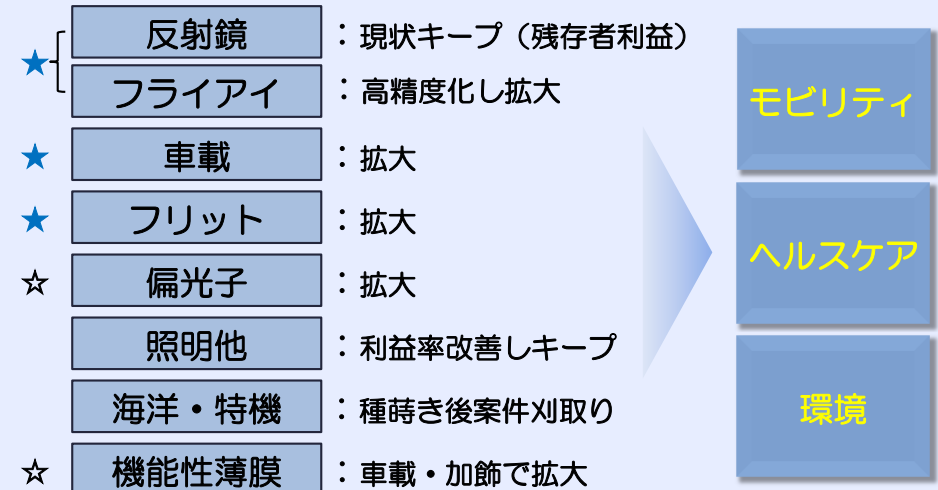


★ターゲット分野

- **モビリティ**：車載中心に受注を獲得し、Ocean, Aviation, Universeへと拡大
- **ヘルスケア**：ウイルス不活性化に対応した紫外線高反射膜、深紫外領域用フィルターを皮切りに、ヘルスケア機器・医療機器向け光学部品へ拡大
- **環境**：樹脂から硝子への回帰、固体光源化に対応しエネルギー効率向上する光学部品・防災、減災並びに防衛等の経済安全保障関連にも目を向け機会探索

2. 【GROWTH 25】事業ポートフォリオの革新

セグメント別取り組み



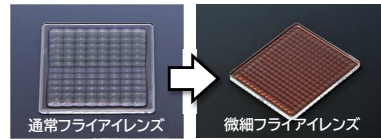
★：全社プロジェクトにて推進中、☆：今後全社プロジェクトに移行予定

3. 主なセグメント別取り組み

フライアイ

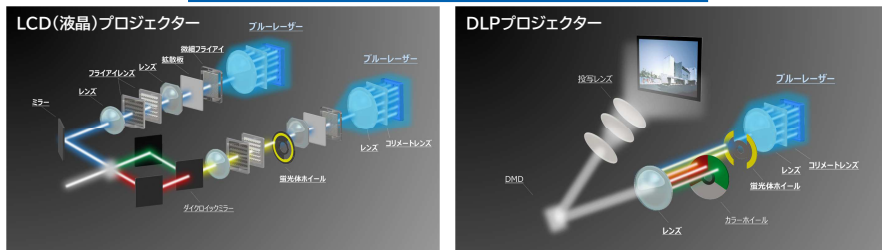
■ 固体光源化等に対応した要求仕様変化に対し、技術再進化により確実に対応

※ 従来の使用目的（光照射の高密度化及び均一性）に加え、今後、固体光源化による拡散板用途も増加していくものと見られ、プロジェクター等の小型化、高精細化に向かう事を含め、微細フライアイの要求が拡大するものと思料



レンズの小型化、セルの微細化、高精度化を実現

レーザー光源プロジェクター 光学系イメージ図

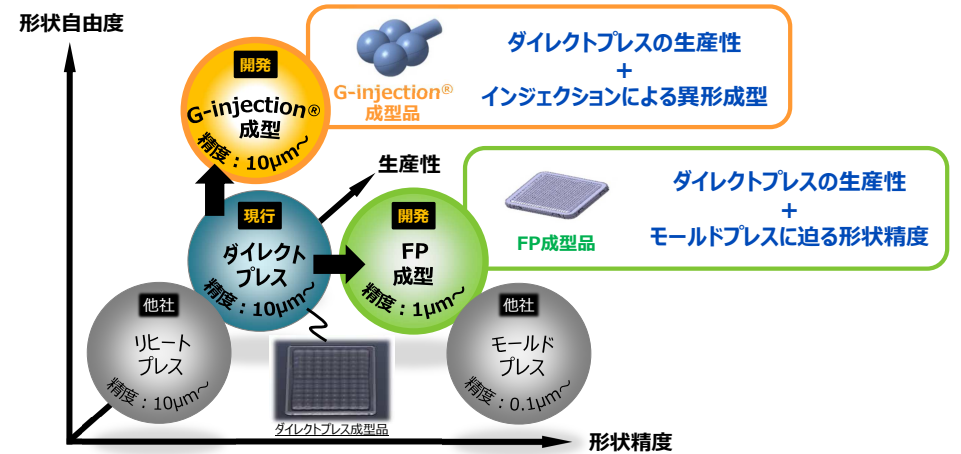


3. 主なセグメント別取り組み

■ 精密成型技術の再進化

岡本硝子DNAの一つである独自ダイレクトプレス成型の更なる進化

- ・ G-injection®成型の高精度化による固体光源用高精度異形非球面レンズ等応用
- ・ FP成型の高精度化によるフライアイ微細化への対応



3. 主なセグメント別取り組み

車載

■ 再進化させた精密成型技術、薄膜蒸着技術（加飾他）により車載部品要求仕様を満足させる

ライティング	<ul style="list-style-type: none"> ・独自成型技術G-injection®の進化で、複雑立体形状/両面形状レンズを実現 ・固体光源に対応したガラス封止蛍光体「PiG (Phosphor in Glass)」の提案
センシング	<ul style="list-style-type: none"> ・ADASに欠かせないLiDAR用に精密成型カバーガラスと併せて、近赤外線に対応した高反射ミラー「Hi-Silver®」を展開 ・カメラ、センサー等カバーガラスの薄型化・軽量化を実現
イメージング	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスと特殊薄膜の融合で、内装デザインに合う次世代クラスターを実現 ・HUDに必要な反射ミラー、凹面鏡等の光学部品の展開
インテリア	<ul style="list-style-type: none"> ・成型による立体形状を実現し、ガラス特有の質感・重厚感に加え、加飾技術との組み合わせにより、ガラスの魅力を最大限に引き出し他社との差別化
UV (殺菌・除菌)	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な車内を実現する様々なウイルス不活性化や殺菌対策にUV-C波長を最大限有効活用可能な紫外線高反射膜、フィルター等を提案
全固体電池 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・従来電池の課題である可燃性の有機電解液の液漏れ等による発火リスクを解決する、安全な固体電池向けの固体電解質を提案

3. 主なセグメント別取り組み

フリット

■ LTCC 低誘電率・低誘電損失の実現によりチップ部品、5Gアンテナ向けの需要が拡大

セラミックチップ部品、光通信用5G基地局に使用されるパッケージ基板について、硝材開発技術を活かした高強度・低誘電材料を開発

☆「5G通信用LTCCデバイス用ガラス粉末及びグリーンシート」が、日刊工業新聞主催2021年「超」モノづくり部品大賞「電気・電子部品賞」を受賞

☆深紫外線を効率良く拡散反射する「Hi-UVC®」が「日本機械学会優秀製品賞」を受賞



LTCC材料、LTCCシート

機能性薄膜

■ 機能性薄膜「Hi-Silver®」とガラス封止蛍光体「PiG」の複合化商品

コアコンピタンスである薄膜蒸着技術と硝材開発技術との融合により、モビリティ・プロジェクター分野の固体光源化拡大に対応すべく、性能面とコスト面を両立

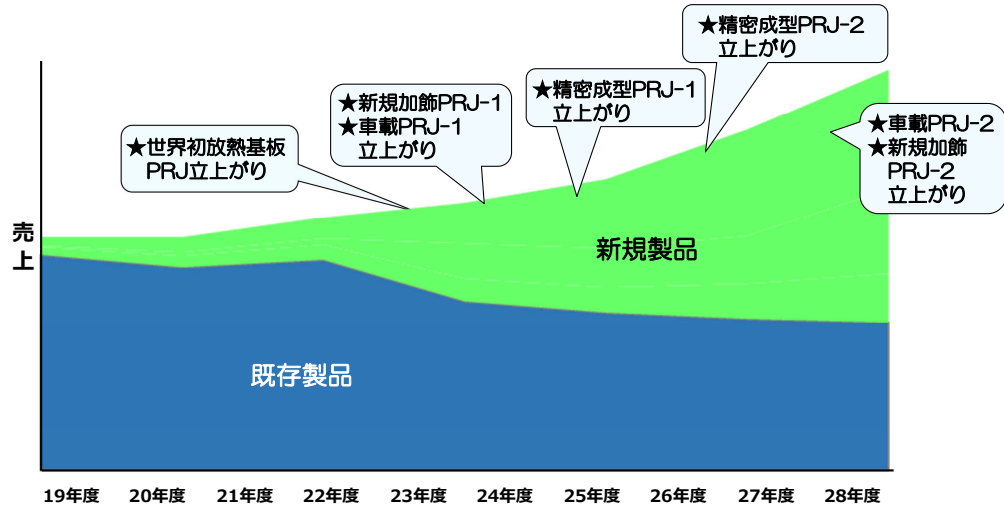
固体光源の光学系部品へ各種ガラス商品を提案し、顧客ニーズに対応



4. 業績数値見通し及び目標

■主なPRJ（プロジェクト）による製品立上がり時期

- ★世界初放熱基板PRJ（23年度）， ★車載PRJ-1,2（25,28年度）
- ★新規加飾PRJ-1,2（24,27年度）， ★精密成型再進化PRJ-1,2（25,26年度）



13

OKAMOTO GLASS

4. 業績数値見通し及び目標



14

OKAMOTO GLASS

OKAMOTO GLASS Co., Ltd.

< 企業理念 >

特殊ガラスと薄膜で光の時代をリードし
お客様が感動する「商品」「サービス」を提供し続けます

**LIGHT UP
THE FUTURE**



(注) 本資料に記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる可能性を含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。

光と匠